
左人差し指の小人

青茶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

左人差し指の小人

【Nコード】

N9090Y

【作者名】

青茶

【あらすじ】

朝目覚めると、指に小人が生えていた。切り取ることも、殺すこともできない。

徐々に身体が蝕まれて……

朝目覚めると、左人差し指に小人が生えていた。

腰から上が、全長10センチのキノコように生えている。

そいつは生意気にも、俺を見てニヤニヤしていた。

ムカついたので握り潰そうとしたが、今度は手の甲に移動している。

手の甲をはたけば、手のひらに生えている始末。

諦めて朝飯を食うことにしたが、違和感を感じる。

どれだけ食っても空腹感が消えない。

小人はニヤニヤしていた。心無しが、先程よりデカくなっている。

事態を理解した俺は、包丁を取り出す。

小人の表情が変わる。

刺そうとして思いとどまる。

俺は風呂場へ行き、洗面器に水を溜めた。

小人の表情が強張る。

俺は勢いよく、水の中に左手を入れる。

小人は右手に移動してニヤニヤしている。
ム力つく以前に、刺さなくて良かったと思う。

俺は黙って、風呂にお湯を溜めた。

シュノーケルを用意して、風呂にはいる。

勢いよく頭までお湯に浸かる。

シュノーケルで呼吸を試みるも、何故か息を吸うことができない。

小人は苦しそうに悶え、喉をかきむしる。

小人の首から赤い液体が滲むと同時に、私の首から血が噴き出す。

痛みに驚き、思わずお湯から飛び出す。

どうやら、私と小人は完全に結合（共有化？）しているらしい。

この分では、包丁で切り落とすことも叶わない。

半ば諦めた私は、風呂場から出て、会社に欠勤の連絡をする。

やたらと腹が減るので大量に飯を食う。

栄養の半分は小人に吸い取られるが、やむを得ない。

十日後……

小人がかなり大きくなり、代わりに私の身体が萎んでいく。

小人は自分の腕を使って食事ができるようになった。

時折、小人が大きくなった腕で私の首を絞めてくる。

飯を与えると大人しくなるが、そのぶん小人は大きくなる。

一ヶ月後

……最早どちらが本体か分からないほど、小人が大きく成長する。

私の筋力では小人を支えることができず、床を這いずり回る生活が続く。

あらかじめ買い込んでおいた食料が腐り出す。

私には食べることができないが、小人は構わずに貪り食う。

そして、とうとう下半身が小人に乗っ取られる。

やがて意識が薄らぎ、小人の逞しい腕には私の上半身が直径10セ

ンチのキノコのように生えている。

私はニヤニヤと生意気な表情で小人を眺める。

小人が人差し指と親指で私をつまむ。

プチっという音が聞こえ、腹部に激痛が走る。

私は固く瞼を閉じた。

おそらく、二度と開くことない瞼を……

(後書き)

なんだか後味の悪い話になってしまいました。

そんなつもりは無かったんですが……

人間の細胞って何年か経つと(七年だけ?) 全て入れ替わるんですよね……

つまり、今まで外観を成していた部分が全くの別物になるんです

なんかもうそれって別人と同じじゃん 笑

話題が逸れましたが、自分の体が自分のモノに感じられない時ってのが私にはあります。

意識がとんだり、ぼーっとして電柱にぶつかったり、電柱蹴り飛ばして足の指が砕け散ったり……

こんなに間抜けなのは私じゃないわ!!

みたいな感じです。

そんな時は小人のせいになります。

小人ムカつく!!

あとがき長いな……

手遅れですが自重します。

ここまで読んでいただいた方々、ありがとうございます御座いました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9090y/>

左人差し指の小人

2011年11月27日06時03分発行